

年度	学年	教科	授業数/週
令和6年度	1	数学科	4
教科書			
東京書籍「新しい数学」			
補助教材			
新学社「数学の問題ノート」①			

年間指導目標
<p>■正の数負の数について理解し、その四則演算ができるようにする。■文字を用いた計算ができるようにする。■方程式について理解し、一元一次方程式を用いることができるようにする。■具体的な事象の中にある二つの数量の変化や対応を調べることを通して、比例、反比例の関係を見だし表現し考察する能力を伸ばす。■基本的な図形を見通しを持って作図する能力を伸ばすとともに、平面図形や空間図形についての理解を深める。また、図形の計量についての能力を伸ばす。</p>

観点	評価材料	評価基準
知識 ・ 技能	・ 定期テスト (知識・技能)	各評価材料の合計が、おおむね80%以上はA評価、30%以上80%未満はB評価、30%未満はC評価とします。
思考 ・ 判断 ・ 表現	・ 定期テスト (思考・判断・表現)	各評価材料の合計が、おおむね70%以上はA評価、30%以上70%未満はB評価、30%未満はC評価とします。
主体的に 学習に 取り組む 態度	・ パスカル ・ テスト ・ 問題集 等	各評価材料の合計が、おおむね80%以上はA評価、30%以上80%未満はB評価、30%未満はC評価とします。

注意事項	基礎が固まったら色々な問題にあたってみることも大切です。初めは解けなくても解説をよく読んで、いろいろな考え方があることを知ることも勉強です。より良い解き方はないかを考え、柔軟な発想ができるようにしましょう。
アドバイス	授業で、先生の説明・話を聞くことを最優先し、内容理解に努めましょう。初めは真似からでもいいのです。わからなければ質問し、疑問点を残さないことが大切です。家庭学習では授業内容が定着するまで、教科書や問題集を利用してくり返し練習しましょう。『その日の内容はその日のうちに』を合い言葉に！